

第 1 回

教養教育シンポジウム

報 告 書

1999. 12

一橋大学大学教育研究機構

# 教養教育シンポジウム 目次

		ページ
1. あいさつ	矢野敬幸大学教育研究機構長	1
2. 学長あいさつ	石 弘光 一橋大学長	2 - 3
3. 学習の履修・勉学上の相談・支援のあり方をめぐって		
司会者から	藤田和也社会学部教授	4 - 5
報告(1) 前期課程における履修・勉学上の相談・支援のあり方について		
矢野敬幸大学教育研究機構長、平沼学務課教務係長		6 - 9
報告(2) 長期残留問題を考えるために	湊 博昭保健センター助教授	10 - 12
ディスカッション		13 - 20
報告(3) 全国国立大学における教育相談の実態		21 - 32
一本学における教育相談のあり方への示唆	藤田和也社会学部教授	
ディスカッション		33 - 38
4. 成績評価の問題点—設置基準に関する法・省令改正後のあり方		
司会者から	古澤言語社会研究科教授	39
報告(1) なぜ、いま成績評価基準の見直しか	田崎宣義学生部長 (社会学部教授)	40 - 46
ディスカッション		47 - 49
報告(2) 教育評価について	内海和雄社会学部教授	50 - 56
ディスカッション		57
報告(3) キャップ制と成績評価—現状の問題点・学生の批判		
三村徹郎商学部教授		58 - 63
ディスカッション		64 - 65
5. 閉会の挨拶	矢野大学教育研究機構長	66

(注：所属については、1999年12月時点での名称である)